

2010年8月4日

各 位

三井化学株式会社

中国におけるフェノール及びアセトンプラント新設について

当社（以下、三井化学 本社：東京都港区、社長：田中稔一）は、中国石油化工股份有限公司（以下、Sinopec 本社・中国北京市、総裁：王天普）と昨年12月に、フェノール及びアセトンに関しては「新設プロジェクトに関する検討覚書」、EPT（エチレン・プロピレン・ジエン共重合ゴム※1）に関しては「合弁事業推進のためのFSに関する意向書」を締結し、検討を進めてまいりました。

この度、両社は、フェノール及びアセトンプロジェクトに関して、中国・上海市にフェノール年産25万トン、アセトン年産15万トンのプラントを新設（2013年第2四半期営業運転開始予定）することに正式に合意しましたのでお知らせ致します。

また、EPTに関してもFSは順調に進捗し、「新設プロジェクトに関する検討覚書」を締結いたしました。合弁の正式合意は9月の予定です。

三井化学とSinopecはフェノール及びアセトンの新たなプラント建設により、原料から誘導品（ビスフェノールAなど）までの一貫競争力をもった世界有数のフェノール及びアセトンのコンプレックスが実現できます。

フェノール・アセトンの合弁プロジェクトの概要については、以下のとおりです。

< フェノール及びアセトン合弁プロジェクトの概要 >

1. 所在地：中国上海市・上海化学工業区
2. 合弁会社：上海中石化三井化工有限公司（以下、SSMC）※2にて実施
3. 生産能力：新設 フェノール年産25万トン、アセトン年産15万トン
（※併せて、上海中石化高橋分公司の既設プラント（フェノール：年産12.5万トン、アセトン：年産7.5万トン）を、SSMCに統合します。）
4. 新プラントプロセス（フェノールプロセス）：三井化学技術
5. 営業運転開始時期：2013年第2四半期
6. 設備投資額：300億円規模

(※1) EPT：耐候、耐オゾン性、耐熱・耐寒性、電機特性、耐化学薬品性に優れており、自動車部品、電線ケーブル、その他工業部品に幅広く使用されています。

(※2) 上海中石化三井化工有限公司(SSMC)：2006年設立の三井化学、Sinopec両社折半出資のビスフェノールA合弁会社。同社は、昨年1月に年産12万トンのプラントを稼働させております。

＝本件に関するお問い合わせ先＝

三井化学株式会社 IR・広報部長 裾分 啓士 電話：03-6253-2100

以上

調印式（左：Sinopec 王総裁、右：三井化学 田中社長）

